

街づくり計画部長目標

街づくり計画部長 埜澤 好美(のざわ よしみ)



当部の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



ゼロカーボンシティ実現に向けた当部の方針

街づくり計画部は、所沢市都市計画マスタープランに掲げたコンパクト・プラス・ネットワークの街づくりに向けた都市構造の見直しや地域公共交通の充実、建築物の低炭素化・省エネ化の進展などによりゼロカーボンシティを目指します。

街づくり計画部の仕事

街づくり計画部は、都市計画課(交通政策室を含む)、市街地整備課(土地利用推進室を含む)、開発指導課、建築指導課の4課及び狭山ヶ丘区画整理事務所、所沢駅西口区画整理事務所の2事務所で構成され、所沢市総合計画や所沢市都市計画マスタープランに基づく適正な土地利用の誘導、市街地整備の推進、地域公共交通の充実などを主な仕事としています。

街づくり計画部の令和4年度の目標

街づくり計画部は、地域をつなぐ足となる公共交通の充実やマンション管理の適正化を進め、安全・安心で快適に住み続けられる街づくりを目指します。また、土地利用転換と連動した土地区画整理事業や市街地再開発事業により、環境に配慮した都市基盤整備を促進し自然と調和した災害に強い街づくりを進めます。

目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	充実した地域公共交通への見直し事業	歩いて暮らせるマチ、歩きたくなるマチ実現のため、持続可能で充実した地域公共交通への見直しを進めます。	持続可能な地域公共交通の実現に向けて、所沢市地域公共交通計画を策定します。 柳瀬地区において、ところワゴンの運行を開始するとともに、富岡地区においても運行に向けた準備を進めます。 ところバスを増便し利便性を向上させるため、既存路線の見直しを進めます。 ところバスやところワゴンのバス停にベンチを設置します。	○「所沢市地域公共交通計画」を令和5年3月に策定しました。 ○柳瀬地区ところワゴンの実証運行を令和5年3月7日から開始しました。 富岡地区は令和5年5月からの運行開始に向けて準備を進めました。 ○ところバスの柳瀬コースを見直し、卸売市場方面を増便しました。 ○ところバスのバス停14か所にベンチを設置しました。

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
2	マンション管理適正化支援事業	<p>今後、高経年の分譲マンションの急増が見込まれる中、分譲マンションが管理不全に陥ることを防ぎ、良好な居住環境を確保するため、管理状況の把握を進めるとともに、管理組合への支援を行い、分譲マンションの管理適正化を図ります。</p>	<p>○令和4年4月から開始する「管理状況届出制度」、「新築マンション管理事項届出制度」及び「管理計画認定制度」の周知を図り、効果的・円滑な運用に努めます。</p> <p>○新たな支援策として「マンション管理アドバイザー派遣制度」及び「専門家団体による重点支援事業」を実施します。</p> <p>○令和3年度の実態調査によって把握している要支援マンションに対して支援策の活用を働きかけ、管理状況の改善を促します。</p>	<p>各制度のリーフレットを作成し無料相談会やセミナーでの配布、管理組合へ郵送するなど、周知を図りました。</p> <p>重点支援事業について長期修繕計画作成に向けた支援を開始しました。</p> <p>要支援マンションに対しアドバイザー派遣制度の利用案内を送付しました。また適宜、訪問等により支援策の活用を働きかけました。</p>
3	土地利用転換推進事業	<p>定住人口・交流人口の増加、地域の活性化をより一層図るため、地域の特性や周辺環境との調和に配慮し、計画的かつ適正な土地利用を進めます。</p>	<p>旧暫定逆線引き地区のうち、市街化区域に編入した北秋津・上安松地区、若松町地区については、引き続き土地区画整理組合に対し、道路、下水道などの公共施設の整備に向け、助言・支援等を行います。</p> <p>市街化区域編入を目指す下安松東地区については、今年中に都市計画手続きを開始し、令和5年中の手続き完了を目指します。</p> <p>市街化区域編入を目指す上安松・下安松西地区については、引き続き準備組合に対し、事業計画の策定など土地区画整理事業の実施に向け、助言・支援等を行います。</p> <p>土地利用推進エリアのうち優先的に取り組んでいる三ヶ島工業団地周辺地区については、市街化区域編入に向けて今年中に都市計画手続きを開始し、令和5年中の手続き完了を目指します。</p> <p>関越自動車道所沢インターチェンジ周辺地区については、具体的な区域の決定に向けて民間活力を活用しながら発起人会と調整を進めます。</p> <p>松郷工業団地周辺地区については、周辺の土地利用状況を見据えながら情報収集に努めます。</p>	<p>北秋津・上安松地区は、道路等の整備が年次計画どおりに完了しました。</p> <p>若松町地区も道路等の整備が年次計画どおりに進められ、宅地分譲(街びらき)がされました。</p> <p>下安松東地区は原案説明会開催などの都市計画手続きを開始しました。</p> <p>上安松・下安松西地区は事業計画策定に向けた調整を行いました。</p> <p>三ヶ島工業団地周辺地区は、原案説明会開催などの都市計画手続きや環境影響評価書作成を行いました。</p> <p>関越自動車道所沢インターチェンジ周辺地区は勉強会を開催するとともに、区域の決定に向けて発起人会と調整を進めました。</p> <p>松郷工業団地周辺地区は周辺の土地利用状況を踏まえ、情報収集を行いました。</p>

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
4	日東地区まちづくり事業及びファルマン通り交差点の改良・無電柱化整備事業	<p>所沢駅に近接した商業地という地区の特性を踏まえた民間活力による再開発事業とあわせ、一体的に交差点整備を行うことで、より安全で人を中心にしたマチづくりを進めます。</p>	<p>○東町再開発事業については、組合が行う道路整備が、円滑に進むよう、助言・支援等を行います。</p> <p>日東地区内の骨格となる道路整備については、街のあり方や道路の設えから検討し、思わず歩きたくなる空間となるよう、関係権利者や地元の方々と意見交換を進めるとともに、現地の測量を行います。</p> <p>○ファルマン通り交差点改良事業については、用地取得した部分から工事に着手します。</p> <p>交差点周辺の無電柱化整備事業については、再開発事業区域内から電線共同溝の建設工事に着手します。</p> <p>再開発タワーの前に生み出される広い歩道空間の活用については、整備の仕方やマチの活性化に繋がる管理・運営方法などについて、みどりにも配慮しながら関係者と協議を進めます。</p>	<p>○東町再開発事業は、再開発組合が行う道路整備が完了しました。</p> <p>日東地区内の骨格となる道路整備は、「東町の街づくりを考える会」を開催し、地元の方々と意見交換を進めるとともに現地の測量を行いました。</p> <p>○ファルマン通り交差点改良工事を行い、交差点の形を整え車線・信号機の切り替えを行いました。</p> <p>無電柱化のため交差点の南東部分に電線共同溝を設置しました。</p> <p>○関係者と協議し、広い歩道空間の一部に芝を植え、トウカエデを植樹しました。</p>